

今連盟だより

第 20 号

平成 16 年 3 月 1 日

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務所 〒 411-0832 三島市南二日町 26-12 大川由美子

「連盟だより」20号に寄せて

会長 中西 满子

連盟創立 30 周年を迎えた本年の「連盟だより」第 20 号の発行となり、各種大会、行事が掲載される内容を楽しみにしております。

20 周年記念誌「絆」と同名の 30 周年記念誌「絆」としての発行もあり、どちらも編集担当が中心となって、役員、チーム各位のご寄稿をまとめて出来上がったことを喜ばしく思います。

さまざまな出来事や、歴史が生まれた中で、15 年度で特筆すべきことの第一は、綾部義彦元会長が昨秋亡くなられたことです。私のバレーボール人生の中で忘れられない恩師のひとりであります。時には、厳しいお叱りを受け、時には、上手に讃め言葉を下さり、心やさしく、そして、毅然としたそのお人柄が 20 周年記念誌の巻頭を飾って下さった、富士に桜の美しい色紙が物語っています。

第二は、長い間ご支援を頂いております富士コカ・コーラボトリング(株)様、傘下の神奈川、山梨両県との親善ことぶき大会を、30 周年の記念大会として開催したことです。

歴史は、多くの方たちと共に造られて参りました。「ことぶき」年代の方々が今なお、生涯スポーツとしてバレーボールにかかわり、「いそじ」「若いママさん」と共に、今後も更に発展していく連盟への先導組となったり、時には、応援組となったりしてほしいと願っております。

終りに、迎える 16 年度は、多くの関係者のご指導とご支援、ご家族のご理解を受けながら「明るく、楽しく、美しく」の意味を重く受けとめ、実践の年にして下さることを祈念いたします。



「富士に桜」 綾部 義彦氏 画

仲間たちへ今年もよろしく

理事長 大川由美子

30 年という大きな節目を迎えることができ、時の流れの速さに感慨深いものがあります。皆様方も、きっと同じお気持ちでおられることと存じます。

平成 15 年を振り返ってみると、困難を極むる運営もやむをえない実情だったと、いまさらながら、時が流れてきたことに、支えていただいた県協会の皆様、協賛社の方々に、感謝とお礼を申し上げたい気持ちで一杯です。本当に有り難うございました。悩むまもなく、次々と大会、講習会に追われ、じっくりと考える余裕すらありませんでしたが、大会でのみんなの笑顔や、大きな声がママさんバレーの全てであると確信します。15 年度の大会日程も順調に進み、大阪開催、第 34 回全国ママさんバレーボール大会で、浜松市の富塚クラブ A が C 組三位となりました。福島開催、いそじ全国大会では、静岡市清水の may が D ブロックで準優勝しました。桑名開催、東海大会では、清水シースカイ A、島田スポーツクラブ両チームが三位となりました。その他、東海大会のいそじ、ことぶき、全国のことぶきと、シニアの方たちも、生涯スポーツを目指して楽しんでおります。役員も競技、審判、指導普及と、一生懸命がんばっており、国体、ワールドカップ、Vリーグと、忙しい中にもバレーボールで盛り上がった一年でした。ママさんバレーが出来ることへの感謝、自分の健康が明るい家庭づくりに還元されるものであるとの自負心をもって、これからも続けていってもらいたいと思います。

今年のキーワードは「自分」だそうです。今一度、自分を反省してみましょう。

スポーツの夢と感動を大切にします

仲間を大切に

副理事長 水口みさ子

例年ない慌ただしさの始まりは、国体の開催県で行う、日本協会の審判講習会からでした。県内の到る所に「ふじっぴー」の幟の立ち並ぶ「わかふじ国体」に、総務員、審判員として参加した事前研修や本大会は、選手たちに負けない程の熱い思いで過ごした日々でした。日本中を沸かせたワールドカップで大活躍だった選手たちがやってきたVリーグへの協力などで、県傘下としての活動も多く、目まぐるしい一年でした。

日本を代表するプレーヤーが、バレーボール始めたきっかけを尋ねられ「母親のママさんバレーに付いていて」と答えるのを聞く度に、日本のバレーボールの根っここの部分を支えているのは私たちなんだと自負するのと同時に、大きな責任を感じないではいられません。日本の将来を担っているママさんたちが楽しくバレーボールをするために努力することと、全日本のチームがアテネへの夢を実現して、日本中でバレーボールへの熱が再燃し、バレーボール人口が増加！などという夢を見ながら、私自身が多くの方々にそうして頂いてきたように「仲間を大切に！」を心がけながら歩み続けたいと思います。

心を繋ぐ

副理事長 村松 昭枝

連盟創立30周年を迎え、この連盟を支え続けてこられた諸先輩のご苦労に思いを馳せ、私もまた、有形無形の教えを受け、自身の血となり肉となった出来事、そして素晴らしい出会いに思いを致し、感慨深いものがあります。

今年開催された静岡国体もその一例。右往左往して終わった翌日、持ち場の部屋に入ると、昨日使った布巾がきれいに洗い乾燥させて湯呑み茶碗のうえにかけてありました。どなたが？と思ったのは一瞬。謙遜ばかりしていた人なので、真の姿をつい見落としてしまった迂闊さが悔やまれた出来事でした。厳しさの中で培った精神は、還暦を過ぎた今も健在だったのです。

世情はIT時代。連盟も時代と共に歩まねばなりません。しかし、スポーツを通して学んだ精神は新旧を問わず、時代がどうあろうとも生き続けてほしいと願っています。

目の前で起こった出来事も、その人の受け取り方で良くも悪くもあります。人の優しさを分かる人、悲しさを分かる人、そんな人たちの中で働けたらと思っております。

水分の補給と運動について

副理事長 金子すみ子

最近、試合中に筋けいれんを起こす選手が気になります。水分の補給をしましょう。体内で消費された水分を補給して、一定量の水を保つことが大切なことです。がぶ飲みは止めましょう。一度に大量の補給は感心しません。コップ一杯（200ml）程度が目安です。たとえば、1時間の運動で強度のスポーツの場合なら、0.5l～1lの補給が必要とされると言われています。その水がいかに速く生体内に吸収されるか、条件として、5℃～15℃で水温の低いほうが吸収が速いのです。また、糖を多く含むほど吸収速度が遅くなります。多量の発汗により体水分と共に電解質が失われて筋けいれんを誘発する危険が多くなるので、塩をひとつまみ入れた水や、2倍に薄めたスポーツドリンクなどを適宜補給することが大切です。

これで、準決勝、決勝での筋けいれん等の生体内のトラブルを解消して、センターコートで存分に、自分たちのプレーが披露できること、まちがいなし。チームの皆さんの活躍を期待しています。

歴史を積み重ねて

事務局長 中山 裕子

家庭婦人バレーボール連盟も創立30周年を迎えました。創立時、30チーム程の組織が、本年度は、いそじ、ことぶきを合わせて150チームもの大所帯になりました。これもひとえに人生の大半をバレーボールにご尽力下さった諸先輩方の熱意と努力、また、登録チームの皆様方のご協力によるものと感謝いたします。

スポーツの楽しさは、競技そのものが、利も得も生まれない。また、お互いがお互いを尊敬し、人間として最大の財産である健康な体と心の向上をはかることができるところにあると思います。私たち人間の中で、欲を持たない人は一人もいないでしょう。欲があるからこそ、進歩もあると思いますが、欲望を満たそうとするばかりではなく、心のふれ合いを大切にして“豊かな心”“助け合う心”“くじけない心”“明るい心”“温かい心”を培っていってほしいと思います。

歴史とは、今までありませんが、積み重ねによって生まれ、その積み重ねに一本の筋が通ってくると、初めてずしりとした重みを持ちます。家庭婦人連盟も、40年、50年に向かって歴史を刻んでいくためにも、皆様の更なるご協力をお願いいたします。

スポーツの夢と感動を大切にします

サンドリーDAKARAカップ 第34回 全国ママさんバレー ボール大会

日時 平成15年7月26日(土)・27日(日)

会場 三大阪府立体育馆

ブロック三位に 監督 山本 悅子

「夢」だった全国大会が、いつしか、目標となり、「次は富塚だね。頑張ってね」といわれる事は心強い励ましであり、プレッシャーでした。

コーチなどいない練習は、試行錯誤の連続で、その末の権利獲得は、より価値のあるものに思え、ブロック三位の銅メダルが、選手達の胸に輝いて見えました。

県代表を送り出す方々のご苦労の程を思うと、一層の責任を感じ、大会に臨みました。ご協力下さった近隣のチームや、協会・連盟の方々に心から感謝し、この大きな夢の実現を、新たな夢への門出としたいと思います。

FR 篠 直美

夢にまで見た全国大会の晴れ舞台。

今までに味わったことのない程の緊張と、一度しかないチャンスを思いきり楽しもうという気持ちで、終始、胸の鼓動は高鳴っていました。

結果、「ブロック三位」監督をはじめ、チームの皆と抱き合い、喜びの涙を流せた事は、私にとって一生の宝物になりました。

欲をいえば「大阪の夜」を楽しみたかったです。

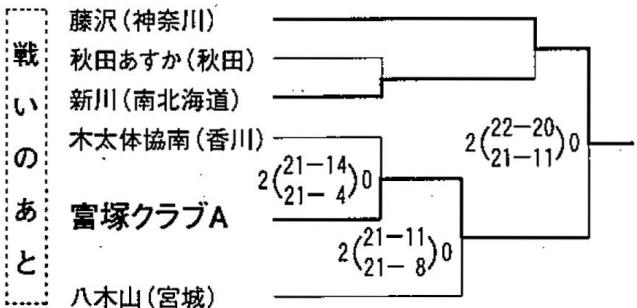
HC 細川 敦子

一生に一度の全国大会。県代表という看板を背負い大阪で貴重な経験をさせていただきました。皆様の力強い応援と、チームの皆が一つになることで、メダルをいただくこともできました。私にとって一生の思い出となりました。皆に感謝です。

HL 松田 悅子

全国大会出場は、最大の目標であり、厚い壁。幾度となく挫折感すら感じながら練習を重ね、予選突破の瞬間は、目の前が真っ白に……。

自分や仲間を信じ、100%以上の力を發揮して獲得したこの銅メダルは、私の一番の誇りです。



FC 清水 薫

全国大会はまるでオリンピックのよう。出場の権利を勝ち取るために、努力を重ね、協力をいただき、皆の声援を胸に大会に臨みました。

地区予選から、銅メダルまでの全てが、深く心に残り、千載一遇の強運に恵まれたことに感謝します。

HR 豊田 真希

全国大会出場。念願の夢が叶いました。

大阪の会場は、今まで味わったことのない、独特な熱気と興奮に溢れていました。普段は対戦できないチームと試合ができ、とてもよい思い出になりました。

BR 神田きみ代

どのチームの人たちも、本当にバレーが好きでやっているな~と感じ、応援の熱気にも感動しました。他の県の人たちとも交流が持ててよかったです。一生に一度の思い出ができました。

BL 神谷 裕美

全国大会出場が決まった時は、ただただ嬉しく、山本監督のおかげと思いました。

大会は、多くの役員の方々のお力で、滞りなく進められ、はるばる静岡からも大勢の方が応援に駆けつけて下さって感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

競技委員長3年生 =反省と課題=

松浦 里子

創立30年という節目の年、競技委員長の役をいただいて3年目。前競技委員長から、教えて頂きながら、やつと仕事がわかってきた一年だった。

いくら準備万端整えたつもりでも、予測せぬハプニングも時には起こる。そんな時、競技委員長としての判断が問われる。選手にとって、どう対処するのが最善なのか?ルールにはのっとっているか?咄嗟に、冷静に適切な判断が要求される。まだまだ未熟だ。研鑽を積み自分自身を磨かなくてはならない。

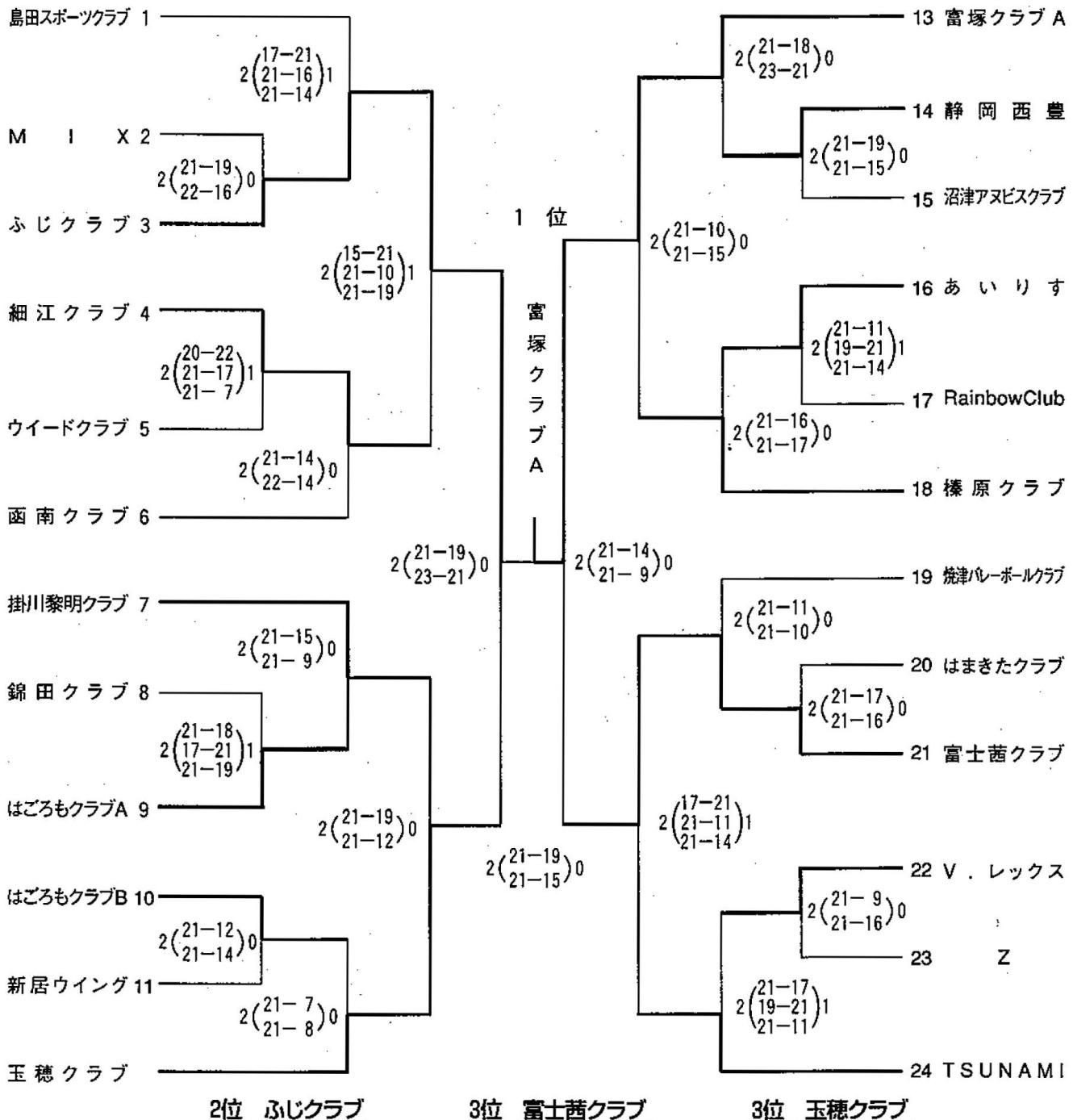
今、生涯スポーツとしてバレーボールが普及している。いわゆるママさんの大会の他、いそじ、ことぶきの大会等、多種多様の大会がある。それぞれの体力、実情にあった運営を検討しなくてはならない。

来年度は4年生。これらの課題を、一つずつ解決できるよう努力したい、皆様のご協力をお願い致します。

サントリーカップ 第34回 全国ママさんバレー大会 静岡県予選大会

日時 平成15年6月1日(日)

会場 県営草薙総合運動場体育館



平成15年度 真田杯静岡県バレー大会 優勝大会 (家庭婦人の部)

日時 平成15年4月6日(日)

会場 藤枝市民体育館

藤枝労働者体育館

	優勝	準優勝	3位	3位
Aグループ	曳馬クラブ	栄クラブ	静岡シーズクラブ	Super NINE
Bグループ	清水シーズカイA	菊川立木大和	袋井クラブ	掛川黎明クラブ
Cグループ	榛原クラブ	焼津バレークラブ	ビリージーン	フェニックス

うつくしまふくしまに集う

第15回 全国家庭婦人バレーボールいそじ大会

日時 平成15年10月8日(水)～10日(金)
会場 福島県あづま総合体育館
福島市国体記念体育馆

Dグループ

準優勝への道

may キャプテン 有岡 聖子

私達mayクラブは、平成15年2月に、4名の同級生を中心に気持ちの通じあった、家庭婦人バレーボール歴20年以上の友人達でチーム作りをしました。

県の大会までは、清水地域のクラブチームと練習試合を、月2回行いました。県大会ではまさかの優勝でたいへん嬉しく、チーム全員が夢のようでした。

全国大会の切符を手にしてからは、清水西クラブの監督、加藤 勉さんにコーチをお願いし、充実した練習内容となり、ますます全国大会への意識を高めてまいりました。

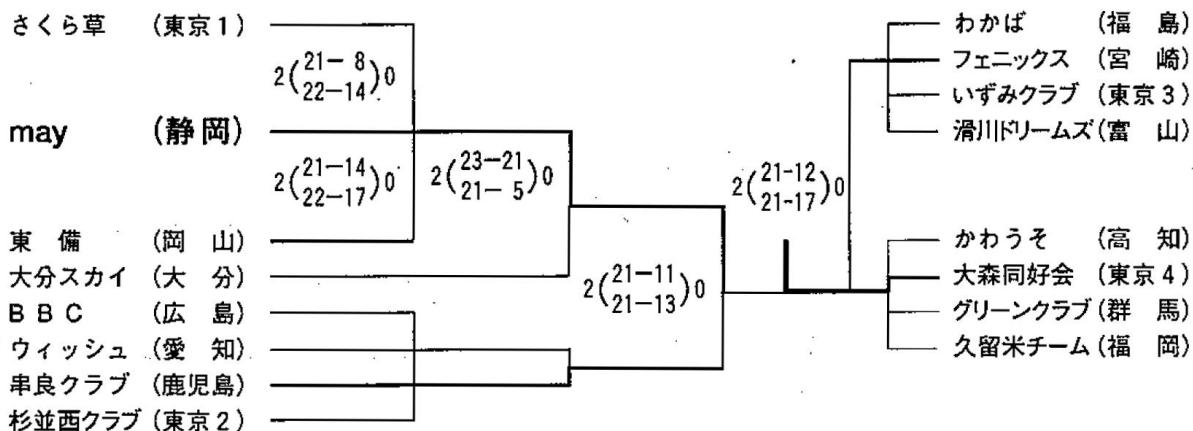
また、県連盟の皆様、中部協会の皆様から、絶大なるお言葉や励ましのお手紙を頂き、チームが県代表の重みを一人一人感じ、楽しく、悔いのないように精一杯プレーすることに専念しました。

習全国福島大会では、決勝戦まで行き、東京代表、大森同好会に惜しくも敗れ、準優勝となりましたが、静岡県連盟の皆様のご指導のもと、素晴らしい結果を納めることができました。

また、福島県連盟の皆様の暖かいおもてなしの心に感動いたしました。大変お世話になり、誠に有り難うございました。お陰さまで、いそじの良い思い出作りができました。

これからも、チーム仲良く、次へのステップにしたいと思います。

試合経過



全国派遣審判員を体験して

綿間瀬 智子

「全国ママさんバレーボール大会」が、大阪府立体育館で行われました。

派遣審判員ということでしたが、私としては、不安で、不安で、眠れない日が何日もつづきました。でも「自分なりに、一生懸命やるしかない」と思い静岡を出発しました。

国旗を持っての入場行進。身が引き締まる思いでした。トーナメント戦が始まり、一日目、第一試合一主審・第四試合一副審・第六試合一主審とやらせていただきました。

さすがに、どのチームも各県代表の素晴らしいチームばかり。少しでもラリーが続くよう、選手の方々が楽しくプレーができるようお手伝いが出来ればと思い審判台に上がりましたが、緊張の余り、足が震え、無我夢中で笛を吹いていたように思います。

二日目、Dブロックの決勝の主審。さすがにレベルの高い試合でした。一球一球、目で追い、気の抜けない緊張の連続の中、主審、副審、記録、線審が一体となった試合でした。私なりに一生懸命やったつもりですが、終わってみれば反省することばかりで、自分の未熟さ、不甲斐なさを思い知り、まだまだ勉強しなければと思いました。

緊張、緊張の五日間でしたが、本当にすばらしい経験をさせていただいたことは、私の生涯の思い出です。この経験を生かして、今まで以上に頑張っていきたいと思います。

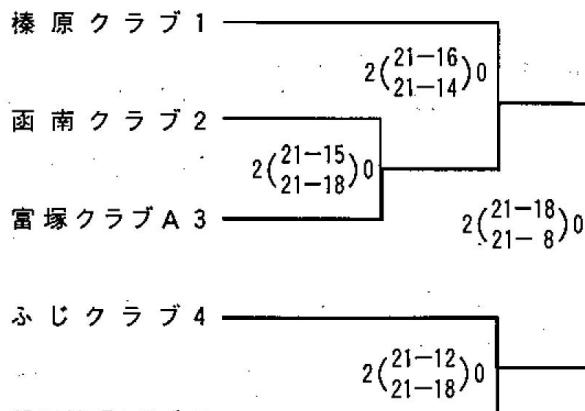
富士コカ・コーラカップ

第27回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

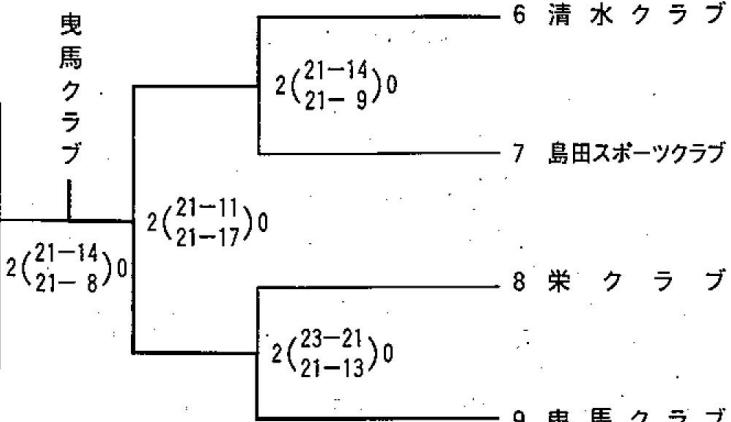
日時 平成15年9月7日(日)

会場 県営草薙総合体育館
静岡学園高等学校体育館

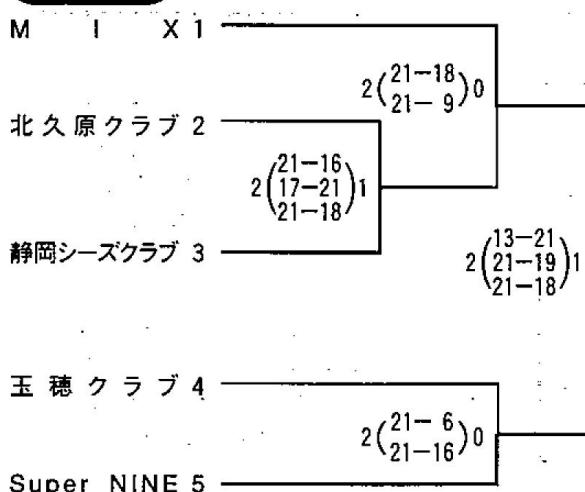
Aグループ



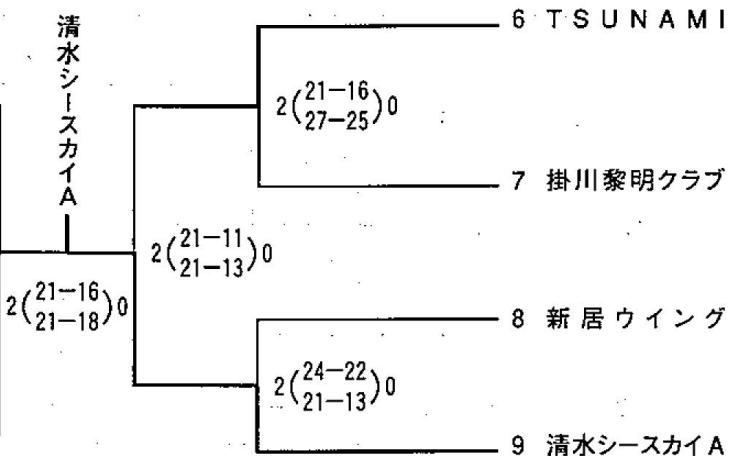
優勝



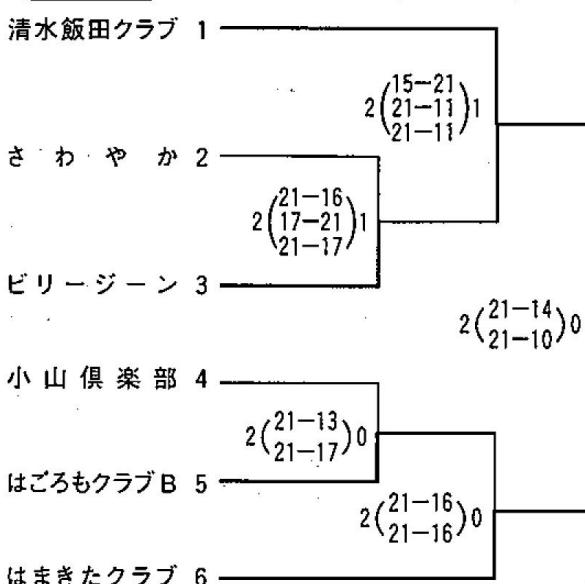
Bグループ



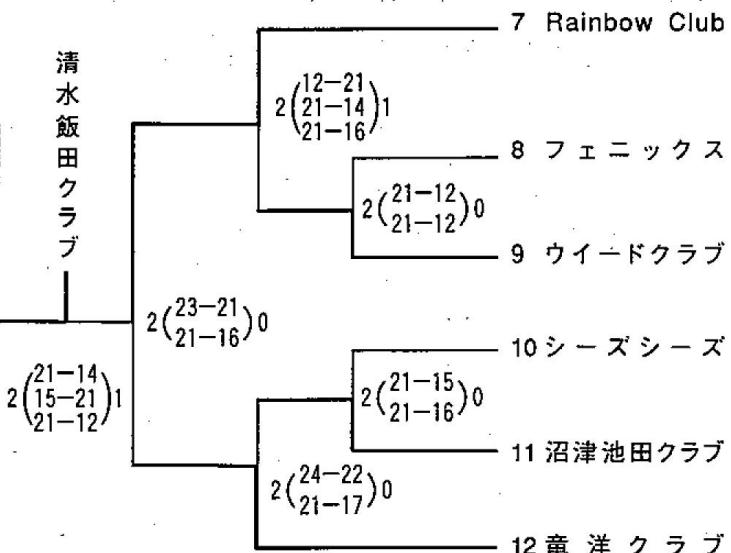
優勝



Cグループ



優勝



富士コカ・コーラカップ

第27回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

日時 平成15年9月7日(日)

会場 県営草薙総合体育館

静岡学園高等学校体育館

運をつかめ

Aグループ優勝

曳馬クラブ 佐竹 朋子

「コカ・コーラの顔になったね、曳馬さん」。昨年、二度目の優勝を決めたとき、あるチームの監督さんに声をかけられた。私は「運が良かっただけです」とすかさず答えた。すると「さすが、強いチームだね。謙虚だね。」と感心されたのだが、私は、謙虚でも、何でもなく、本心そう思ったから、そう答えただけなのである。

激戦の西部地区で出場上位3チームに残ることは簡単ではない。接戦で、今思えばゾッとする試合も多々ある。家庭婦人であるがゆえ、家庭の事情でメンバーがそろわないことも当然あるし（実際、一度目と二度目の優勝時のメンバーは、半分違う）監督をはじめ、コーチなど、スタッフに恵まれていることも運が良い。

「運も実力のうち」といわれれば、そうかも知れないが、ただひとついえること、それは、チャンスは皆平等に与えられていて、運が良いか、悪いのかの分れ目というのではなく、そのチャンスを常に受け入れる準備をしているか、否かなのだ。我が、曳馬クラブは、常にその準備をしているという自信はある。

さて、今年の運の女神は、はたして微笑んでくれるだろうか。

目指せ!センターコート!

Bグループ優勝

清水シースカイA 望月多枝子

今年のコカ・コーラは、昨年スケジュールの調整のために休場したこともあり、Bグループからのスタートでした。

最近のシースカイの合い言葉は「目指せ!センターコート!」です。あのセンターコートでの悔しさを胸に、もう一度センターコートへ。そして、今度こそは優勝を……と、そのためにチーム一丸となって、練習に取り組んできました。「決して負けることはできない! 目指すところはもっと上にある」そんなチームの思いがBグループ優勝という結果に導いてくれたのだと思います。

しかし、まだここは通過点。Aグループ決勝でセンターコートに立ち、優勝するまでは止まれない。常に上を目指し、チーム一丸となって。これからも努力していきます。

とびっきりの笑顔

Cグループ優勝

清水飯田クラブ 望月 清美

久しぶりの県大会出場。久しぶりの草薙体育館。そしてCグループ優勝。「おめでとう」の心地よい響き。汗でぬれたオレンジのユニフォーム。とびっきりの笑顔。みんなの力が一つになった、その瞬間でした。このウイニングスマイルは、とっても大切な思います。練習の時、試合の時、勝った時の喜びを目標に、また頑張ることができると思います。これからも「勝ちたい」という強い精神力で臨みたいと思います。

最初は、二試合くらいできればいいかな?と思っていたのですが、途中、ポジションを変えた効果も出てき、レシーブがつながり、エースが決めるという、いいムードで試合ができました。一つのボールに対してのみんなの集中力。“やればできる…”と実感しました。バレーボールは、コートにボールを落とさなければ勝ち、ということがよくわかった試合もありました。ほんとうに楽しい試合でした。ありがとうございます。

特別賞を受賞して

西益津球趣会 小澤 利江

私がいいのか。辞退すべきではないのかと迷いました。バレーボールが好きというだけで、30年以上も続けてきたわけですが……

先輩の方たち、チームの人たち、それに家族の支えがあったからこそ続けてこられた年月だと思って感謝しています。

そして、コカ・コーラカップをはじめ、数々の大会の運営に当たられる役員の方々のご苦労に感謝し、協賛、後援をして下さるスポンサーの各社様に感謝を忘れてはならないと思います。

これからも、平和でスポーツを楽しめる時代が限りなく続くことを願い、健康である限り、微力ではありますが、意義のあるバレーボール人生を歩み続けていきたいと願っております。

ありがとうございました。

特別賞受賞に思う

三島シワーズ 小嶋 明子

松の内も明けて、寒さも厳しい折から、北陸の冬の夜を思い出します。

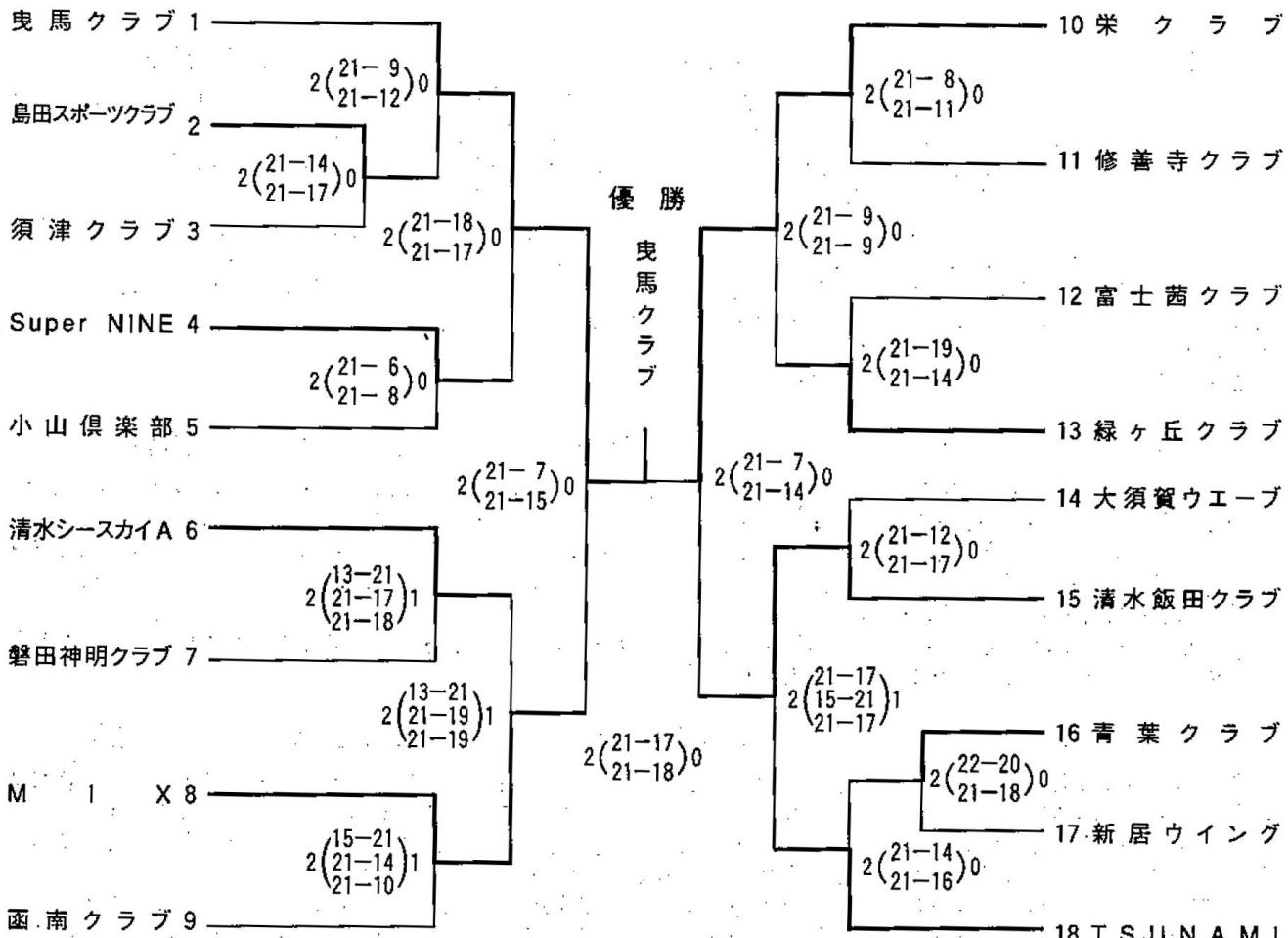
昨年は、私にとって思いがけなく、富士コカ・コーラ様から特別賞をいただき、ありがとうございます。

思えば、中学から今まで、50年になりますバレーボールを楽しむことができるのも、自分の健康と、家族の理解があったからです。私は、石川県から三島市へ来て14年になり、シワーズに入って8年になります。本来ならば孫の世話に生きがいを求める年齢ですが、その視点を趣味とスポーツに置きかえ、わが人生を楽しく、健康に生きようと思っています。このぶき大会で、全国いろいろな所へ行って試合ができるのは、幸せなことです。

これからも、チームの皆様や、連盟の皆様に感謝しながら、いつも楽しく、仲良く暮らしていきたいものだと願っております。

**静岡コシヒカリ杯
第29回 静岡県家庭婦人バレー ボール選手権大会**

日時 平成15年11月2日(日)
会場 県営草薙運動場体育館



特別賞をいただいて

雄踏ビューティーズ 加藤 恵子

大好きなバレー ボールで特別賞。本当にありがとうございました。金沢市で初めてバレー ボール教室に参加し西宮市を経て、静岡県で足かけ27年になります。その間年齢層の広い人達と友達になり、おかげで知らない土地に行っても、子供達が転校で悩むこともありませんでした。多くのチームメイトに出会い、あふれるばかりのエネルギーをいただいて、今こうして元気でバレー ボールを続けていられることに、大きな喜びを感じています。これもみな、家庭婦人バレー ボール連盟の皆様の活躍のお蔭と深く感謝しております。一つのボールをどこまでも追って落とさずにつなぐ。嫌なことも忘れて、熱中できるのがいいですね。

これからも健康に感謝し、みんなの輪の中で、できるだけ永くバレー ボールを続けていきたいと思います。

コシヒカリ杯 3位

MIX 水野 真理

今年は、新メンバーの加入。ポジションの変更などもあり、新しいMIXの始まりの年でした。

しかし、最初はなかなかうまくいかず、何度も悔しい思いをしました。でもこの悔しさがバネになりチームの中で「勝ちたい」という気持ちが高まり、徐々にみんなの気持ちがひとつになっていくた ような気がします。

そして、念願のコシヒカリ杯県大会出場。準々決勝戦は、苦しみながらも、チーム全員の集中力が高まり、気持ちが一つになって勝てた試合でした。

ここまで頑張ってこられたのも、監督、コーチ陣の支えがあったからだと思います。

これからも、さらに上を目指し、来年は、決勝でセンター コートに立てるよう頑張ります。

東海連盟行事

東海大会派遣審判員を体験して

垣見 佳子

10月19日、桑名市体育館で行われた、第30回大会に審判員として参加させていただきました。一回戦の主審と決勝戦の副審をやらせていただきました。主審としては、選手が納得できる笛吹きをする事、ホールディングをきちんと見極める事。副審としては、動きすぎない事、ベンチコントロールをきちんととする事を、自分の課題としました。いつも、審判講習会で受講生の皆さんに伝えていたる事を自分に言い聞かせて試合に向かいました。一回戦の試合後向井審判長より、ホールディングについて指導をいただきましたが、一緒に組んだ審判団の皆さんに助けていただきなんとか無事、割り当てられた審判を終えることができ、ホッとしています。

この大会を通して学んだ事を、これから県内の大会で生かしていきたいと思っています。

貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

東海家庭婦人バレー部審判講習会に参加して

芹澤みや子

改めて、審判の難しさを痛感した二日間でした。一日目は、副審と記録。二日目は、ラインズマンと主審をやらせていただきました。どの場面でも、緊張のためか、なかなかうまくゆかず、少々、自信のあった記録でさえ3セット目の開始時に、複数のメンバー交代でもたつてしまい、ガックリ。先生からは、まず慌てずに手続きを正確に行うこと。記録、副審、主審、それぞれが、しっかりと目を合わせて、確認しあうことの大切さを教えていただきました。良い緊張感を持ち、主審、副審、記録、ラインズマンが一体となり、チームの人達が、楽しくプレーできるような審判を目指して精進したいと思います。

東海リーダー研修会の熱い一日

勝又 明美

7月6日、むし暑い名古屋で、東海リーダー研修会に参加させていただきました。わけもわからず、受講生となりましたが、私自身、バレーは上手とはいえないのに、なんでもいいから食っちゃうぞ、という気持ちで臨みました。

講師は、元オリンピック選手の中島(旧姓:広瀬)美代子さん、長身で、スリムな方でしたが、やはり、頂点を極めた人なので厳しい指導でした。

「レシーブの瞬間は、もっと足幅を広げなさい。声を出して。無口でプレーをしたらいかん。チームメートに指示の声をもっと出さなきゃ。最後まであきらめんと、執念でボールを追いかけなあかん」お国なりを交え、前日に高校生を指導された名残でしょうか、非常にテキパキとした指示が飛びました。私一人じゃもったいない、チーム全員がここにいたらいいのになあ、と思ったことでした。

チームカラーによってフォーメーションは、それぞれであること、心をこめて、次の人にボールを託すこと等々ですが、やはりまくなるには、基本を忠実に守ることだと教えられました。

愛知県はじめ、他県の皆さんとの交流。また、車中においては、今までお話ししたことのない方々とも、親交を深めることができ、私にとりまして、実りの多い一日となりました。ありがとうございました。

第6回東海家庭婦人バレー部 ことぶき大会

日 時 平成15年8月21日(木)

会 場 三重県鈴鹿市体育館

参加チーム 飯田シニアB・静岡クラブ・ウエスタン・三島シワーズ・絆・沼津レモンズ・しみず

第30回東海家庭婦人バレー部大会

日 時 平成15年10月19日(日)

会 場 三重県桑名市体育館

参加チーム 清水シースカイA・島田スポーツクラブ

第11回東海家庭婦人バレー部 いそじ大会

日 時 平成15年10月26日(日)

会 場 岐阜県瑞浪市民体育館

参加チーム 球趣会シニアA・静岡クラブB・静岡CCガールズ・ポイント富士宮

第8回全国家庭婦人バレー部 ことぶき大会

日 時 平成15年10月16日(木)~18日(土)

会 場 群馬県総合スポーツセンター

出場チーム 秋桜・伊豆球友会



平成15年度 県 大 会 成 績

月日	大 会 名	1 位	2 位	3 位	
4/6	真田杯	Aグループ 曳馬クラブ	栄クラブ	静岡シーズクラブ	Super NINE
		Bグループ 清水シースカイA	菊川立木大和	袋井クラブ	掛川黎明クラブ
		Cグループ 榛原クラブ	焼津バレーボールクラブ	ビリージーン	フェニックス
6/1	全国大会県予選	富塚クラブA	ふじクラブ	富士茜クラブ	玉穂クラブ
6/14	全国いそじ大会県予選	m a y	和 樂	松風クラブ	クラブプライム
9/7	富士コカ・コーラカップ 県大会	Aグループ 曳馬クラブ	ふじクラブ	清水クラブ	富塚クラブA
		Bグループ 清水シースカイA	Super NINE	TSUNAMI	M I X
		Cグループ 清水飯田クラブ	Rainbow Club	はまきたクラブ	竜洋クラブ
9/27	東海大会県予選	清水シースカイA	島田スポーツクラブ	静岡シーズクラブ	長泉クラブ
11/2	静岡コシヒカリ杯・選手権大会	曳馬クラブ	栄クラブ	M I X	清水飯田クラブ

平成15年度 当連盟に対し厚いご支援を下さった共催・後援・協賛・協力各社

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| ★真田杯優勝大会 |サッポロビール(株) |
| ★全国ママさんバレーボール県予選大会 |サントリー(株)・朝日新聞静岡総局・静岡朝日テレビ |
| ★三県親善交流バレーボールことぶき大会 |富士コカ・コーラボトリング(株) |
| ★富士コカ・コーラカップ県大会 |富士コカ・コーラボトリング(株)・テレビ静岡 |
| ★静岡コシヒカリ杯県選手権大会 |J A 静岡経済連・静岡朝日テレビ |
| ★親睦バボちゃん大会 |富士コカ・コーラボトリング(株) |

※連盟各種大会には、県教育委員会より後援を頂いております。

ご協力ありがとうございました

後記

家庭婦人バレーボール連盟が誕生して30年という大きな節目を迎えることができました。先輩方の豊富な経験と、たゆまぬ努力によって築きあげられた石垣のおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。大きな波風にも押し流されることのなかつた、この石垣にこれからさらに一段、一段石を積み上げていかなければならぬ責任の重さを、ずっしりと肩に感じています。

不況の波は、長く、厳しさを増して、バレーボール愛好家をもおびやかしつつあります。この現実をしっかりと受けとめて、チームと役員とが一丸となって、よりよい大会運営を目指して頑張っていきたいと思います。

最後に、無理なお願いにもかかわらず、原稿をお寄せ下さった皆様、ほんとうに、ありがとうございました。
(平野 記)

新チーム紹介

- 東 部
宮 フェイス・パンジー
- 中 部
三 友 会
- 西 部
サンクラブ・風花会

みんなで 楽しく がんばって